

## 会 報

### 平成26年度第1回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日 時 平成26年4月21日(月) 13:00~15:30
2. 場 所 日本公衆衛生協会 1階会議室
3. 出席者 理事長 大井田隆  
 学会長 武藤孝司 副会長 太田照男  
 理 事 青柳 潔 安西将也  
 磯 博康 今中雄一  
 遠藤弘良 尾崎哲則  
 角野文彦 小島光洋  
 小林廉毅 櫻山豊夫  
 宇田英典 佐藤眞一  
 中川秀昭 原田規章  
 平野かよ子 松谷有希雄  
 村嶋幸代 本橋 豊  
 安村誠司 山縣然太郎  
 (20人)

監 事 相澤好治

委任状提出者

副会長 名越 究 川中子武保  
(2人)

理 事 遠藤 明 椎葉茂樹  
 住友眞佐美 高野健人  
 田中久子 (5人)

監 事 馬場園明

現在理事数30人、出席者23人、委任状提出者7人、学会規定第13条第1項による定数に達していることを確認の後、大井田隆理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち大井田隆理事長から、挨拶と指名理事が全国保健所長会会長の交代に伴い、佐々木隆一郎氏から宇田英典氏にかわった旨報告があった。

議事録署名人 磯 博康理事、佐藤眞一理事が指名された。

#### 議 事

#### 第1号議案 第73回(平成26年度)日本公衆衛生学会総会について

武藤孝司学会長から下記の説明があった。

1. シンポジウムへの応募は36題あったが会場の都合で28題とした。
2. 特別講演Ⅰに柳田邦夫氏、特別講演Ⅱに鎌田實氏を予定している。
3. 栃木県は脳卒中、糖尿病などワースト10に入る県であるが、今回の総会が県民にとって有意義であるように、学校保健にも力を入れたい。
4. 優秀演題を6題選考して、発表してもらうこ

ととした。

太田照男副会長(栃木県医師会長)からも挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

#### 第2号議案 第74回(平成27年度)日本公衆衛生学会総会について

青柳 潔次期学会長から下記の説明があった。

1. 会期を平成27年11月4日~6日までとした。そのため前日の理事会、評議員会、関連の全国衛生部長会等は祝日になるが、会期を変更できないため、協力をお願いしたい。
  2. メインテーマを検討中である。
  3. 多くの人に来て頂きたい、準備を進めたい。
- 以上により、本議案は了承された。

#### 第3号議案 第75回(平成28年度)日本公衆衛生学会総会について

大井田理事長から1月の理事会で75回総会は近畿ブロックでの開催を検討することとなった旨説明があった。

磯 博康理事から近畿地区ブロックの角野文彦理事とも検討し、大阪で開催する方向で準備を進めることとした旨報告があった。

#### 第4号議案 奨励賞受賞者について

武藤孝司委員長から本日午前中に開催した奨励賞選考委員会の選考結果として6名の候補者から下記の5名を奨励賞候補者とした旨報告があった。

大井田理事長から本年度の奨励賞について、選考委員会の結果を踏まえ次の方々を表彰したいので、本理事会においてご了承頂きたいとの提案があり、了承された。

- |      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 上原里程 | 市町村が実施する地域保健に関する調査研究への支援活動        |
| 谷本芳美 | 地域高齢者における介護予防の視点からみたサルコペニアの意義について |
| 蔭山正子 | 精神障がい者家族への支援技術とプログラム開発に関する実践研究    |
| 山岸良匡 | 地域における生活習慣病予防のための公衆衛生活動の実践とその評価   |
| 豊川智之 | 医師供給と医療へのアクセスに関する公衆衛生学的研究         |

#### 第5号議案 本学会認定公衆衛生専門家の承認について

高野健人委員長が欠席のため今中雄一副委員長から下記の説明があった。

1. 25年度の本学会認定公衆衛生専門家には20人からの申請があり7か所の地方試験委員会で審査した結果を基に、持ち回り認定委員会で20人の方を「可」とした。

2. 前回の理事会以降に認定した公衆衛生専門家認定研修会・地方公衆衛生学会の報告。

3. 暫定期間中に承認された認定専門家の有効期限が2016年3月31日までとなっているので、更新の準備を進めている。

以上により、本議案は了承された。

## 第6号議案 委員会及び関連会議・学協会等の報告・審議事項

### 1) 編集委員会

小林廉毅編集担当理事から投稿規定の改正について下記の説明があった。

① 4月からスカラーワン オンライン投稿審査システムを本格的に開始した。

② それに伴い一部投稿規定を改正した。

③ 投稿料の無料を検討している。

投稿料無料について検討した結果、大かた賛成の意見であったが、大井田理事長から、特に意見のある方は1か月をめぐりに事務局に連絡してほしい、特に意見がない場合は、投稿料無料とすることとし、了承された。

### 2) 研究倫理審査委員会

小林廉毅理事から3月20日に委員会を開催し、審議の結果、申請者にコメントを返し再度申請してもらうこととした旨報告があった。

### 3) 公衆衛生モニタリング・レポート委員会

原田規章委員長から3月28日の委員会について73回総会時のシンポジウムについてと今期の報告書について検討した旨報告があった。

#### 健康危機管理小委員会

遠藤弘良委員長から下記の報告があった。

① 3月17日に健康危機管理モニタリング・レポートシステムのモニタリングリーダー会議を開催した。

② 意見交換のために使用するICTツールは分野ごとにリーダーの判断で決めてもらうこととした。

③ 危機管理にこだわらず、分野ごとの情報交換は必要という意見が多く出た。

④ 総会開催中の11月6日に協力してもらう認定専門家を含めたリーダー会議を開催することとし、その時までには問題点を洗い出すこととした。

#### ヘルス・プロモーション小委員会

青柳 潔委員長から修正したワーキンググループでまとめた「非正規雇用と健康」のレポートを資料として添付しているのをご意見を5月10日までに頂きたい。ご意見がなければ、編集委員会に学会誌への掲載を依頼したい旨説明があった。

### 4) 教育・生涯学習委員会

今中雄一委員長から下記の説明があった。

① 3月20日に開催したフォーラム「これからの公衆衛生－医療・介護・保健とまちづくりの融合－」のアンケート結果を含めた報告があった。概ね、よかったとの感想が多かったが、このようなフォーラムの継続、今後に向けての要望があった。

② 平成26年度論文の書き方研修は京都大学と受託研究契約を交わすこととした。

### 5) 地域保健医療福祉委員会

#### 健診・保健指導専門委員会

武藤孝司委員長から前回の理事会以降、特にご意見がなかったので、「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】に対する意見」を、大井田理事長と相談して厚生労働省に提出する時期を決めたい旨報告があった。

#### 感染症専門委員会

角野文彦委員長から総会時に行っていた感染症のセミナーは、役員の任期もあることから8月中に開催することを考えている旨の報告があった。

武藤孝司学会長から、役員の任期の関係もあるが、秋の総会は前期の委員会で活動しているので、感染症のセミナーは是非、総会に開催して欲しい旨要望があった。

角野文彦委員長から、あらためて委員会を開催し、総会時にセミナーができるように準備を進めたい旨の説明があった。

#### 自殺対策・メンタルヘルス専門委員会

本橋 豊委員長から73回総会でのシンポジウムについて紹介があった。

#### たばこ対策専門委員会

尾崎哲則委員長から下記の説明があった。

① 2020年オリンピック成功に向けて、19学会禁煙推進学術ネットワークから東京都受動喫煙防止条例制定の要望書を提出することとなったが、文案について4月中にご意見を頂きたい。

② 無煙タバコの情報提供について、前回の理事会以降、時にご意見がなかったので、学会誌に掲載を依頼したい。

#### 東日本大震災復興対策専門委員会

本橋 豊委員長から、3月16日に東北大学の良陵会館において、シンポジウム「東日本大震災後3年目の復興活動の共有－被災地の復興の現状と今後の課題・公衆衛生従事者にできること」を開催した。ほぼ満席で活発なシンポジウムだったとの報告があった。

このシンポジウムを担当した平野かよ子理事から、基調講演、パネルディスカッションの他に、教

育講演「フィリピン台風被害に東日本大震災の経験をどのように活かすか」や各テーマごとのラウンドテーブル、助成したプロジェクトの研究報告を行ったとの報告があった。

理事会終了後にシンポジウムのDVDを鑑賞した。

#### 6) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋幸代委員長から本日午前中開催の委員会の報告があった。

① 事例集の構成案について検討した。保健所における活動の事例、市町村における活動の事例、事例から学ぶ公衆衛生活動の推進要因とする。

② 今期の報告書には事例集を要約して提言的なものを入れたい。

③ 次回委員会は7月12日に開催する。

#### 7) 専門職委員会

第5号議案で説明した。

#### 8) 利益相反委員会

山縣然太郎委員長から公衆衛生学研究の利益相反に関する指針策定について指針の細則(案)を資料に説明があった。

検討の結果、1カ月以内に意見をもらうこととした。

#### 9) 第15回役員選挙 選挙管理委員会

武藤孝司委員長から、現在の登録状況について報告があった。

#### 10) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会

安村誠司理事から全公連ではHPを充実させて、インターネット総会を開催した旨報告があった。

#### 11) 日本医学会

櫻山豊夫理事から2月19日開催の日本医学会評議員会の報告があった。

① 第29回医学会総会の準備状況について。

② 2013年度の新規加盟学会について、学会から推薦があり、審査の結果承認した。

③ 日本医師会の定款の関係から、日本医師会の下部組織である日本医学会と法人化された日本医学会連合が並立することとなった。

小林理事から追加説明があった。

① 一般社団法人 日本医学会連合の定款について。

② 法人化に伴う負担金については、基本料金5万円+会員数(学生会員を除く)×100円を予定しているため、本学会からは約85万円の支出となる。

#### 12) 日本学術会議関連

磯 博康理事から下記のとおりパブリックヘルス科学分科会の報告があった。

① 学術の動向(平成26年5月号)に「生活習慣病予防、重症化予防の推進のための健診・保健指導

の在り方」が特集される。

② 東大の川上委員が学術会議提言「これから20年の労働者の心の健康づくりのために」を作成している。

③ 東日本大震災関連学術フォーラムを実施した。

#### 第7号議案 その他

遠藤弘良会計担当理事から学会会計について下記の説明があった。

① 印刷費を5%削減、会議の旅費を実費にしたため、かなりの節約ができた。常に見直しをしながら学会の適性な運営に努めたい。

② 謝金の支給基準について説明があり、了承された。

#### 報告事項

##### 1. 名誉会員の推戴について

中川秀昭名誉会員担当理事から今年度新たに推戴する名誉会員の候補者を6月中旬に推薦してほしい旨依頼があった。

##### 2. その他

磯庶務担当理事から「平成25年度自殺対策強化月間」に対する協賛依頼、「WPA疫学・公衆衛生奈良会議」の後援依頼があり、承認した旨報告があった。

次回理事会は7月29日(火)13時半～

#### 平成26年度第2回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日時 平成26年7月29日(火)13:30～15:30

2. 場所 日本公衆衛生協会1階会議室

3. 出席者 理事長代行 櫻山豊夫

学会長 武藤孝司

副会長 太田照男

理事 青柳 潔 安西将也

今中雄一 宇田英典

遠藤 明 尾崎哲則

角野文彦 小島光洋

佐藤真一 正林督章

中川秀昭 原田規章

平野かよ子 松谷有希雄

村嶋幸代 本橋 豊

安村誠司 山縣然太郎

(18人)

監事 相澤好治

#### 委任状提出者

理事長 大井田隆

副会長 名越 究 川中子武保

(2人)

理事 磯 博康 遠藤弘良

小林廉毅 住友眞佐美  
高野健人 田中久子  
鶴田憲一 (7人)

監事 馬場園明

現在理事数31人、出席者21人、委任状提出者10人  
学会規定第13条第1項による定数に達していること  
を確認の後、大井田隆理事長欠席のため櫻山豊夫  
理事長代行が議長となり開会を宣した。

議事に先立ち櫻山理事長代行から、挨拶と指名理  
事が厚生労働省の人事異動に伴い、椎葉茂樹氏から  
正林督章氏に、また、全国衛生部長会会長の交代で  
中沢明紀氏から鶴田憲一氏に交代した旨報告があっ  
た。

正林督章理事（厚生労働省健康局がん対策・健康  
増進課長）から指名理事就任のあいさつがあった。

議事録署名人 本橋 豊理事、安西将也理事が指  
名された。

## 議事

### 第1号議案 第73回（平成26年度）日本公衆衛生学 会総会について

武藤孝司学会長から資料に基づき総会前日から4  
日間のスケジュールと演題が口演308題、示説1,190  
題の応募があり、プログラムの作成に入っている旨  
説明があった。

太田照男副会長からは、脳卒中を取り上げてもら  
い有り難い、との挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

### 第2号議案 第74回（平成27年度）日本公衆衛生学 会総会について

青柳 潔次期学会長から74回総会の概要と今後の  
スケジュールについて説明があった。

以上により、本議案は了承された。

### 第3号議案 第75回（平成28年度）日本公衆衛生学 会総会について

櫻山豊夫理事長代行が、本日欠席の磯 博康理事  
からの文書「75回総会は学会長 磯博康で大阪の地  
で開催したい」を読み上げ、満場一致で了解された  
ため、理事会として磯博康理事を学会長候補として  
推薦することを決議した。

以上により本議案は11月の評議員会にかけること  
とした。

### 第4号議案 平成25年度事業報告および収支決算 (案)について 資料4

櫻山豊夫理事長代行から平成25年度事業報告につ  
いて資料に基づき説明があった。

各委員会委員長から平成25年度委員会報告につ  
いて説明があった。

遠藤 明会計担当理事から平成25年年度収支決算

について資料に基づき説明があった。

## 一般会計

① 会員は昨年並だが、24年度以前の会費収入の  
入金があったので、予算より収入増となった。

② 学会機関誌への投稿が減ったため、会誌掲載  
料収入、投稿料収入が減額したが、広告料収入は増  
えた。

③ 特定預金は取り崩さなかった。

④ 72回学会総会からの余剰金を雑収入に入れた。

⑤ 管理費は予算内におさまった。

⑥ 会誌発行費の委託費は、スカラーワンの初期  
費用のため予算をオーバーした。

⑦ 研修会、シンポジウム、フォーラムなど活発  
に活動したので、研修費は赤字となった。

## 特別会計

手数料収入は昨年より申請者が増えたため、予算  
より収入が増えた。

相澤好治監事から会計監査報告があり、本議案は  
承認されたので、11月の評議員会に諮り総会に報告  
することとした。

### 第5号議案 平成27年度事業計画ならびに収支予算 (案)について 資料5

櫻山豊夫理事長代行から平成27年度事業計画につ  
いて資料に基づき説明があった。

遠藤 明会計担当理事から平成27年度収支予算に  
ついて資料に基づき下記の説明があった。

## 一般会計

① 平成27年度の会費収入は26年度と同額にした。

② 公衛誌への投稿が無料となるので投稿料収入  
は無くなる。

③ 旅費交通費は理事会が年4回となるので減額  
した。

④ 会誌発行費の諸謝金は減額し、委託費はスカ  
ラーワンの経費が増えることから増額した。

## 特別会計

① 特別会計は、平成27年度は認定専門家の更新  
の年なので500人が更新する予算を組んだ。

② 事務委託費は経費を削減するというので26  
年度は半額としたが、事務量が増えるので、元に戻  
した。

本議案は承認されたが、9月からの新理事会に報  
告し承認されてから、11月の評議員会に諮り総会に  
報告することとした。

### 第6号議案 名誉会員について

中川秀昭名誉会員担当理事から平成25年度の名誉  
会員候補者について、下記の4人を評議員会に推薦  
したい旨説明があった。

篠崎英夫氏、玉木 武氏、徳留信寛氏、豊嶋英明

氏

検討の結果、本議案は全員一致で承認され、11月の評議員会、総会に諮ることとなった。

小島光洋理事から、現在評議員の方は名誉会員になると評議員は辞退するのか質問があり、そのとおりであることが確認された。

## 第7号議案 委員会、及び関連会議・学協会等の報告・審議事項

### 1) 編集委員会

安村誠司編集担当理事から平成25年度の投稿状況について、詳細な説明があった。

### 2) 研究倫理審査委員会

小林廉毅理事欠席のため櫻山豊夫理事長代行から、7月7日に委員会を開催し、申請を審議の結果、申請者にコメントを返し再度申請してもらうこととした旨、説明があった。

### 3) 公衆衛生モニタリング・レポート委員会

原田規章委員長から6月27日の委員会の議事録と報告書の目次について説明があった。

青柳 潔ヘルス・プロモーション小委員会委員長から、ワーキンググループでまとめた「非正規雇用と健康」のレポートは公衛誌掲載のため校正中である旨、報告があった。

### 4) 教育・生涯学習委員会

今中雄一委員長から「平成26年度論文の書き方研修」について説明があり、まだ余裕があるので、参加希望の人は事務局に言ってほしい旨、報告があった。

### 5) 地域保健医療福祉委員会

#### 健診・保健指導専門委員会

武藤孝司委員長から、大井田理事長と日程を調整して「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】に対する意見」を、厚生労働省に提出する旨報告があった。

#### 感染症対策専門委員会

角野文彦委員長から総会時に開催する「平成26年度 感染症事例のリスクアセスメント研修会 新興感染症から麻しんまで」についての詳細と、前年度の反省を生かしてワークショップに力を入れることとした旨説明があった。

#### 自殺対策・メンタルヘルス専門委員会

本橋 豊委員長から本学会も科学的根拠に基づく自殺予防総合対策推進コンソーシアム準備会に入っているため、12月のニュースレターの団体紹介に本委員会の活動報告をすることになった旨説明があった。

#### たばこ対策専門委員会

尾崎哲則委員長から無煙タバコの情報提供につい

て、学会誌に掲載する準備をしている旨報告があった。

### 6) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋幸代委員長から、平野かよ子理事(副委員長)が中心となって活動事例集「21世紀に展開した公衆衛生活動」を作成しており、11月の総会ではこのテーマでシンポジウムを行う予定である旨報告があった。

平野かよ子理事から活動事例集の構成案について説明があった。

### 7) 専門職委員会

高野健人委員長欠席のため、今中雄一理事が前回の理事会以降に承認した公衆衛生専門家認定研修会・地方公衆衛生学会を紹介した。

### 8) 利益相反委員会

山縣然太郎委員長から下記の説明があった。

#### ① 前回の指針(案)からの変更点は下記の3点。

- 1) 利益相反をCOIに統一(医学会の指針にあわせて)
- 2) 社会医学系4学会のポリシーとの関係は削除
- 3) 公衆衛生学研究の定義を削除

② 編集委員会との整合性をとるために、編集担当の小林廉毅理事と安村誠司理事で一度話し合う。

メール等で意見をもらうこととし、それらを基に、11月の総会までには指針を作成することとした。

### 9) 第15回役員選挙 選挙管理委員会

武藤孝司委員長から、6月20日に委員長の他、遠藤明委員、遠藤弘良委員の立ち会いの下、評議員選挙の開票を行ったこと、評議員選挙投票状況について報告があった。

今回の選挙は前年に比べ、選挙登録率、評議員選挙の投票率が下がったため、その原因を調べることとなった。

### 10) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会

安村誠司理事から8月22日に全公連ワークショップ「子どもの健康リスクを考える」を開催する。本学会からも1人参加できるので、希望者は申し出て欲しい旨報告があった。

### 11) 日本医学会

櫻山豊夫理事長代行から日本医学会から依頼のあった「ICD-10一部改正に関する確認について」と一般社団法人日本医学会連合の平成26年度事業計画について説明があった。

以上により、本議案は承認された。

### 第8号議案 その他

#### 1. 中富健康科学財団の顕彰について

櫻山豊夫理事長代行から中富健康科学振興財団の

顕彰について説明があり、従来、名誉会員の中から選出しているが、今回は候補者を理事長に一任してほしい旨、説明がありました承された。

## 2. JNIH 構想における食品衛生，労働安全衛生，危機管理研究に関して

相澤好治監事から健康・医療戦略推進法案，平成26年度医療分野の研究開発関連予算について説明があり，本学会として「日本医療研究開発機構設立に伴う食品衛生，労働安全衛生，健康安全・危機管理等の分野の研究推進に関する緊急提言」を出すことについて検討した。重要な事なので，相澤好治監事，磯博康理事を窓口にして早急に準備を進めることとした。また，73回総会時にJNIH 構想についての説明会がある旨報告があった。

## 3. その他

学会総会の各都道府県からの分担金について，意

見交換した。

## 報告事項

1. 櫻山豊夫理事長代行から下記の後援名義を承認した旨，報告があった。

・(公財)精神・神経科学振興財団 平成26年度「すいみんの日」市民公開講座

・第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会

・(一財)心の絆プロジェクト 被災地支援活動「ヒューマンケア心の絆プロジェクト」

・(公財)日本建築衛生管理センター 第42回建築物環境衛生管理全国大会

・日本学術会議公開シンポジウム 「災害に対するレジリエンスの向上に向けて」

・日本健康科学学会第30回学術大会

---